

お金に余裕がない柏江市で、お金を使わずアタマを使った、市民全体のための市政を目指します。

わかりやすく  
お伝えします！



## 無所属の柏江市議会議員 三宅まことの 市政リポート

Vol.8 2017年春号

市政報告リポート 2017年春号【発行】柏江市議会議員 三宅まこと事務所  
〒201-0004 柏江市岩戸北3-18-8-701 TEL:090-3815-6045 FAX:03-3489-1677

公式HP <http://三宅まこと.com>



平成二十九年度、新年度がスタート致しました。この四月には市内の小中学校でも新入生をお迎えして、希望と不安を抱えた新生活がスタートします。やがて、月日が流れ、お子様がご卒業される時には、逞しく成長されたお姿をご覧になれるなどを、私は信じております。保護者の方々は、これからも大変な時期が続かれるとは存じますが、どうかお子様方の素敵な人生へと温かくお導きいただきたくお願い申し上げます。

さて、市議会議員の任期は四年間でござりますので、この春でちょうど半分を過ぎる頃となります。二月の「予算特別委員会」では、平成29年度の予算審議をさせていただきました。

巷では「待機児対策」が取り沙汰されておりますが、この柏江市でも無縁ではございません。この二月には認可保育園一時利用申し込みに「不承諾」とされた方が、三一〇名いらっしゃいます。働きたくても働けない方々には大変ご不便をおかけしております。新年度の予算でも保育施設の新設による定員拡大や保育サービスの充実に向けた事業者の補助費等、大幅に児童福祉費が増えていることは確認させていただいております。

さて、柏江市は人口が八万人を超え、新しくお住まいになられた方や、素晴らしいキャラクターを積まれてきた大勢の方々がお住まいになられています。魅力ある街作りを進めていくためには、そうした市民の皆様のお知恵を拝借させていただこうことが肝要です。「お帰りなさい。柏江のまちへ。」そう皆さんと一緒に日々の生活の中で、感じていただけるようになります。

無所属の市議会議員 三宅まこと

平成29年度一般会計当初予算266.8億円、歳入は市税が2.4%伸びる見込みですが、地方交付税等減少により、昨年度比0.4%増となる見通しです。

1

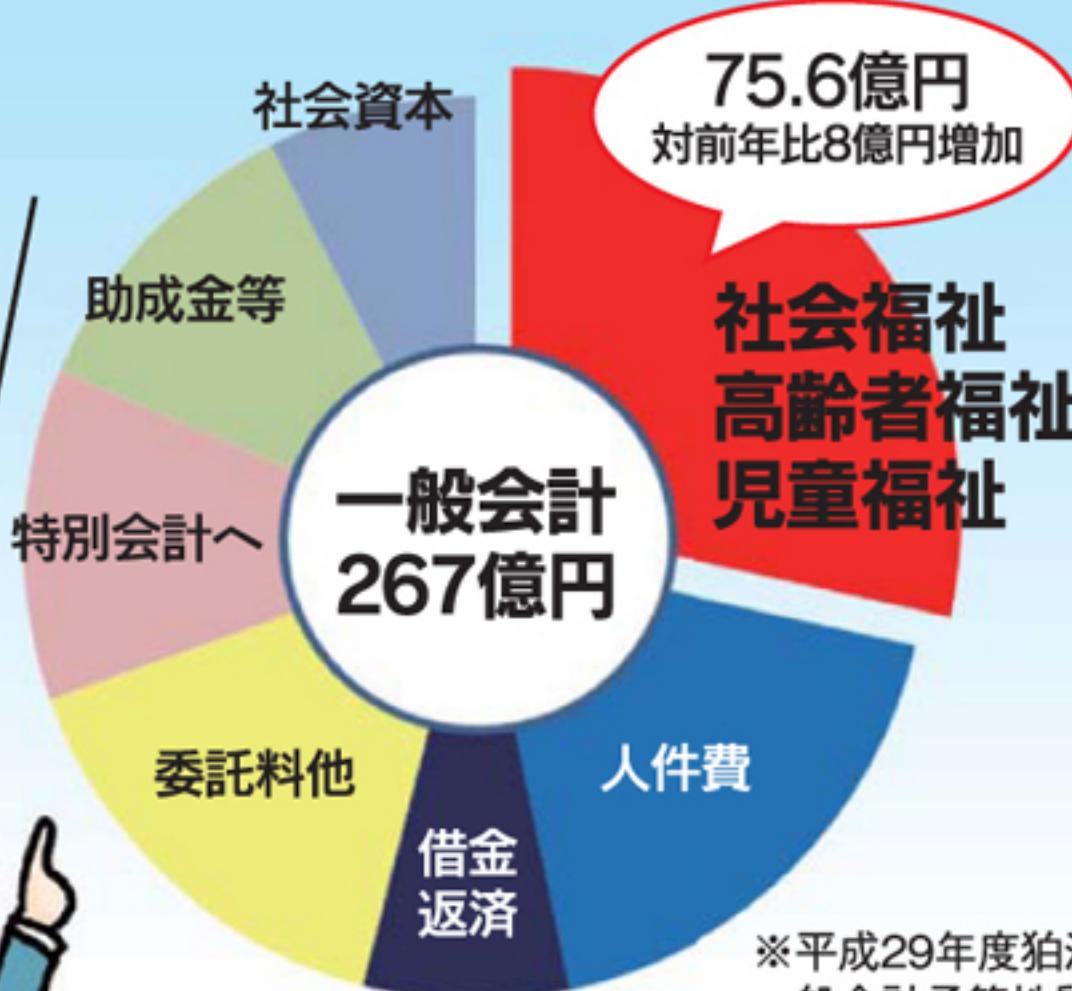
4月2日(日)は、こまえ桜まつり



4月になつて、  
ようやく春めいてきました！

3

福祉のお金  
増えています



平成29年度お金の使い方を  
決めるのが予算議会です。

2

柏江市予算、全6会計462億円の  
資料を「精査」いたしま～す。

なんと全部、  
紙で来る!!



ところで、3月議会では  
予算議会やっていました。

4

サラリーマン出身  
シンマイ議員ミヤケも  
1期目の任期が  
残り短くなってきました。  
今回は、実際に議会で  
話をした内容を、市民の  
皆様にお伝えします

珍しく  
マジメかっ？



で、平成29年度・予算を  
賛成した理由を、  
裏面で掲載しています。

# ミヤケが平成29年度予算を賛成した理由(議会での発言要旨)

長文ですが、是非、最後まで  
お付き合いください。



が市民の皆様に示されたものだと受け止めています。具体的に書かれておりました歳入、すなわち泊江市の「おサイフ」の中身に関して、①市税は前年度比プラス2.4%だが、交付金関係の減少が見込まれ、財源は微増に留まる。②地方交付税は前年度比5.5%8000万円減少、臨時財政対策債は33.8%2億7千万円増加。ということです。

①を要約しますと、納税者が増えたことなどから市税は增收になりますが、市税以外の各種税収に運動する交付金(消費税、自動車取得税など市税以外で納めた税金のうち一定の割合で交付されます)の減少が見込まれ、結果的に市が自由に使えるお金は微増に留まるということ。

②を要約しますと、国の予算において地方政府の財源を補償する機能を持つ地方交付税(所得税、法人税、酒税、消費税の一定割合が地方交付税の主要な財源となります)が減少し、代わりに臨時財政対策の増加により、過去4年間は抑制していたものが、新年度では増やさざるを得なくなつたということです。

まとめますと、泊江市では、今後、人口増加による市民税増加があったとしても、それほど財源が豊かになる見通しにはなら

ないといふことです。泊江市一般会計予算原案について、賛成の立場から意見を申しあげます。

広報こまえ3月15日号で「平成29年度泊江市一般会計予算内訳」が公表されています。新年度予算に対する市の考え方に関するとして、①市税は前年度比プラス2.4%だが、交付金関係の減少が見込まれ、財源は微増に留まる。②地方交付税は前年度比5.5%8000万円減少、臨時財政対策債は33.8%2億7千万円増加。ということです。

一方で、歳出に関して細かい数字は割愛しますが、保育園の待機児解消に向けた予算措置がとされました。新年度でのお金の使いたい道で特徴的なことは、相対的に子育て支援の充実が図られたということです。

さて、限られた財源を優先的にどこに配分されるかで、市民の方でも利益を得る人、そうでもない人とグラデーションが出るわけですが、市民の方もご存知のことじめるなよ」という方もいらっしゃることを申し上げますと、「おいおい高齢者をいじめるなよ」という方もいらっしゃることを思いますが、新年度の予算はそうした方々にも、可能な限りではございますが目が行き届いた予算になっていると思います。

行政をチェックする役割を持たされております市議会議員といつしましては、「言苦言を申し上げます。今回、予算特別委員会の質問で時間を割いたのは「医療と介護の連携推進小委員会」。これは一般会計歳出民生費の「市民福祉推進委員会関係費」に含まれますが予算額にして1714万円、全会計462億円の中ではわずかな事業です。予算特別委員会では泊江市全体に関わる課題を見ていくべきということは、特定の事業だけに焦点を当てるではなく、「木を見て森を見ず」という批評を受けることになりますかと存じます。しかしながら、私の本意はそういうことではございません。

この事業は、平成30年度以降の第四次地域福祉計画、最上位の福祉計画である地域福祉計画策定の根幹をなすものです。なぜならば、委員会の方々は、まさに「木を見て森を見ず」という批評を受けることになりますかと存じます。しかし、私が本当に憂いでいるのは、泊江市職員としての仕事の進め方に關して限られた財源というフットコロ事情が大きかったことは容易に想像できます。

しかし、私が本当に憂いでいるのは、泊江市職員としての仕事の進め方に關して限られた財源というフットコロ事情が大きかったことは容易に想像できます。泊江市に焦点を当てていますが、これは泊江市全体に当ててはまるのではないかと危惧し、苦言を呈するものであります。

さて、今回は、余人をもって代えがたいとされる小委員会の委員に対して、福祉保健部長自らが責任感を持って事情を説明なさるというご答弁をお聞きいたしました。私は、なぜならば、委員会の方々は心配は杞憂に終わるとほ存じます。

しかししながら、組織として上司の顔色を窺ったり、気後れ(きねくれ)することなく、職員の皆様方が仕事を進められる環境を作ること。財源が乏しい中、泊江市のボーダーメンバーが「無い袖は振れない」と判断することは理解できますが、福祉政策を例にとりますと国はものすごいスピードで新たな福祉政策「我が事。丸ごと」「地域共生社会の実現」を打ち出しています。この4月以降、管理職手当で上がることで人件費影響額として全体で460万円上昇致します。今こそ泊江市将来進むべき方向性を可視化し、組織として共有できるマネジメント能力が求められています。これがこそが泊江市の管理職の皆様に一番留意していただきたいことと、一言苦言を申し上げ、冒頭の理由から本予算原案に賛成する討論といたします。

## 泊江市にお願いしたいこと

### 私が申し上げたいこと

### 泊江市にお願いしたいこと

泊江市議会議員 三宅まこと

1964年 東京都生まれ。立教大学経済学部卒業。

1987年 広告代理店・東急エージェンシーに27年間勤務

12年5月、120名社員プロジェクトをリーダーとして運営中に、妻が病気を発症し、要介護認定に伴い介護休職後に退社。

同時に自身が社会保障の重要性に芽生え、介護初任者研修、介護事務、実務者研修修了、同行援護従業者資格取得。

2015年 泊江市議会選挙にて、新人ながら1871票の得票数を頂戴し、全体の2位で当選。

市議会議員活動以外に現役の介護ヘルパーとして活動中。

著書 「愛妻 納税 墓参り 家族から見た三宅久之回想録」(2014年イースト・プレス刊)

メール(info@miyakemakoto.jp)にてご意見をお聞かせください。

# 泊江市議会議員 三宅まこと

1964年	東京都生まれ。立教大学経済学部卒業。
1987年	広告代理店・東急エージェンシーに27年間勤務
2014年	12年5月、120名社員プロジェクトをリーダーとして運営中に、妻が病気を発症し、要介護認定に伴い介護休職後に退社。
	同時に自身が社会保障の重要性に芽生え、介護初任者研修、介護事務、実務者研修修了、同行援護従業者資格取得。
2015年	泊江市議会選挙にて、新人ながら1871票の得票数を頂戴し、全体の2位で当選。
著書	市議会議員活動以外に現役の介護ヘルパーとして活動中。

公式HP <http://miyakemakoto.com>

## 泊江の数字

# 56人?

この3月に卒業されたお子様方、市内小学校児童は約540名、中学校生徒さんは約450名ということです。卒業式に参列させていただきますと、最近では「旅立ちの日に」という合唱曲をお聞きすることが多くなってまいりました。お子様方がキラキラした瞳で一生懸命歌っているのを聞いておりますと、滂沱の涙を禁じることができません。

そして桜が満開の4月、たくさんのお迎えします。保護者の方々は、これからも大変な時期をお過ごしになられるかとは存じます。それぞれのご家庭には様々なご事情がおありだと思いますが、お子様方の健やかな成長を信じて、将来の自立へのサポートをしていただければと存じます。因みに市内の小中学校には、3月から人型ロボット「PEPPER」がソフトバンク社会貢献プログラムの一環としてプログラミング教育を促進するという目的で56台(予定)無償貸与されています。彼らも同様に可愛がって(?)いただけたら嬉しい思います。